

令和2年実施 町政懇談会の記録 (12 その他)

朱書きは、後日回答するとしたもの及び訂正箇所です。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (青書きは、令和3年3月31日現在の対応状況です。)	担当課等
神崎	11月7日	12その他	財政基盤安定に向けた取り組みについて	財政調整基金について、町が目標とする10億円を確保するための取組について教えてほしい。	歳入については、ふるさと納税の推進や広告収入を確保するほか、新たな収入の確保に努めます。歳出については、事務事業評価に外部評価を導入をするほか、経常的経費の削減、枠配分方式による予算編成、企業会計及び特別会計の健全運営を図り、コスト削減に努めます。歳入を増やし、歳出を減らすほかないと考えますので、実施すること、実施しないことを見極めることが必要と考えています。	財政課
神崎	11月7日	12その他	財政基盤安定に向けた取り組み	財政調整基金の積立額について、松前町と比較して他市町が多い理由を教えてください。また、他市町の積立額は、今後も増加していくのか教えてください。	他市町については、過疎債など松前町では活用することができない有利な財政上の制度の適用を受けるため、本町と比較して積立額が多い状況にあると考えます。今後の他市町の基金積立額については、市町により変動(増減)するものと考えます。なお、令和元年度の愛媛県内の決算状況を見ると、実質単年度収支が赤字の団体は15団体であり、何らかの基金が減少しているものと推察します。	財政課
中川原	11月7日	12その他	補助金について	財政基盤の安定に向けた歳出の取組について、奨励的な補助金は3年で廃止としているが、補助金により事業や個人の収入が増え、経済活動が活性化し、税収が増えることも考えられる。補助金を廃止することについて詳しく説明してほしい。	奨励的な補助金とは、町として町民の皆さんの活動を奨励・助長することを目的とした補助金のことです。一度創設した補助金を継続して交付し続けると、新しい補助金制度を創設することに支出が増え続けることから、活動の浸透・普及によりその目的を達成した補助金は、廃止するというものです。	総務課
中川原	11月7日	12その他	補助金について	補助金事業について、町のホームページで検索ができるようにしてほしい。	補助事業を集約した一覧を掲載するなど検索が容易になるよう検討します。 ⇒補助金事業の情報を集約し、町ホームページのトップページから容易に検索することができるよう7月末を目途に改善します。	総務課
塩屋	11月7日	12その他	補助金について	財政基盤の安定に向けた歳出の取組について、奨励的な補助金は3年で廃止としているが、どのような補助金が教えてほしい。	町民の皆さんの活動を奨励・助長することを目的とした補助金が対象です。一度創設した補助金を継続して交付し続けると、新しい補助金制度を創設することに支出が増え続けることから、活動の浸透・普及によりその目的を達成した補助金は、廃止するというものです。	総務課
塩屋	11月7日	12その他	町長の給与減額	町長の給与を減額する措置が行われたところであるが、減額が与える財政への影響はほとんどないと思われるので、減額しなくてもいいのではないかと。	慢性的に赤字が続くなど深刻な財政難に直面していれば、町長のみならず職員の給与を削減することも考えられますが、今の財政状況は、その窮状にまで至っていません。災害や感染症など突発的に緊急的な費用の発生に備える財政調整基金額が不安であるため、財政基盤の安定化に真剣に取り組もうとする、リーダーとしての覚悟、意気込みを示すために行うものです。	総務課
塩屋	11月7日	12その他	入札制度	正確に設計ができるのであれば、入札を行わず、その設計価格で受注できる業者に請け負わせればいいのではないかと。	公共工事等は、原則として公平・公正な競争入札を行わなければならないことが地方自治法で定められていますので、特殊な内容のものは別として、正当な競争入札により業者を決定し、特定の事業者と契約することは避けたいと考えています。	財政課
塩屋	11月7日	12その他	正規職員の雇用増加	市町村の臨時職員の割合が4割を超えるという報道を見たが、それで仕事ができるのか。また、松前町の臨時職員の割合について教えてください。	今年度から会計年度任用職員制度が導入され、従来の臨時職員は、会計年度任用職員になりました。会計年度任用職員は、勤務時間によってパート雇用とフルタイム雇用に分かれますが、正規職員が行う業務の補助を行う職員として雇用しています。 なお、松前町の会計年度任用職員の割合は45%程度です。	総務課

令和2年実施 町政懇談会の記録（12 その他）

朱書きは、後日回答するとしたもの及び訂正箇所です。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (青書きは、令和3年3月31日現在の対応状況です。)	担当課等
塩屋	11月7日	12その他	町政懇談会について	本年度の町政懇談会は、土曜日の午後で開催されたが、参加者を見ると高齢者と男性が大半を占めている。女性や若者の参加が増える町政懇談会にしてほしい。	本年度の町政懇談会は、女性団体を対象とした懇談会や現役世代の方が参加しやすい土日の昼間開催なども計画しましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、今回の開催方法と参加結果になりました。次年度以降は、改めて幅広い年齢層の方々に参加いただける町政懇談会の開催に努めます。	総務課
中川原	11月7日	12その他	都市計画	北伊予地区は、他の校区と比べ産業・経済面の開発に差があると思うが、どのように考えているか教えてほしい。	松前町は、松山広域都市計画区域内にあるため、区域に求められる役割の中で整備を進めることとなります。計画に変更がない限り、北伊予地区が農村地帯としての役割を担うことが続いていくと考えます。町の都市計画においても、北伊予地区は農地が広がっているため、農地を生かした産業を振興していくこととしており、農業振興に必要な支援をしたいと考えています。	まちづくり課
西高柳	11月7日	12その他	西高柳墓地	重信川が増水すると墓地が浸水するので、墓を囲む堤防を設置してほしい。また、堤防上道路から墓に降りる道の拡幅はできないか。	河川法で規制されているため、堤防を設置したり、道路拡幅を行ったりすることは困難と考えます。	町民課